

八王子市地球温暖化対策地域推進計画

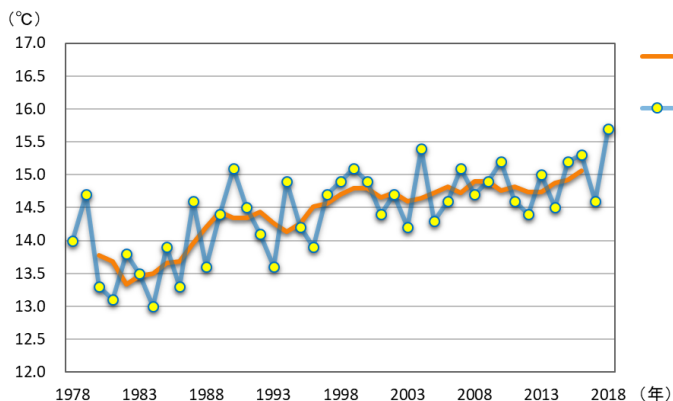
概要版

地球温暖化の影響は、私たちの生活にも大きく関わっています！

八王子市の平均気温は、直近 30 年間で約 1.4℃上昇しており、平成 30（2018）年 7 月には、同地点での観測史上最も高い 39.3℃を記録しました。

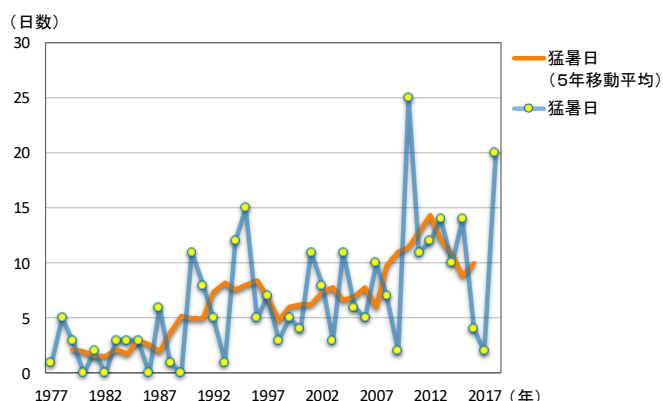
また、2018 年の猛暑日日数が 20 日を記録しました。

このまま地球温暖化による気候変動が進行すると、暑熱環境の悪化、大雨による災害発生や水不足などのリスクが増大する恐れがあります。



八王子市の平均気温の経年変化

※出典：気象庁データを基に作成



八王子市の猛暑日日数の経年変化

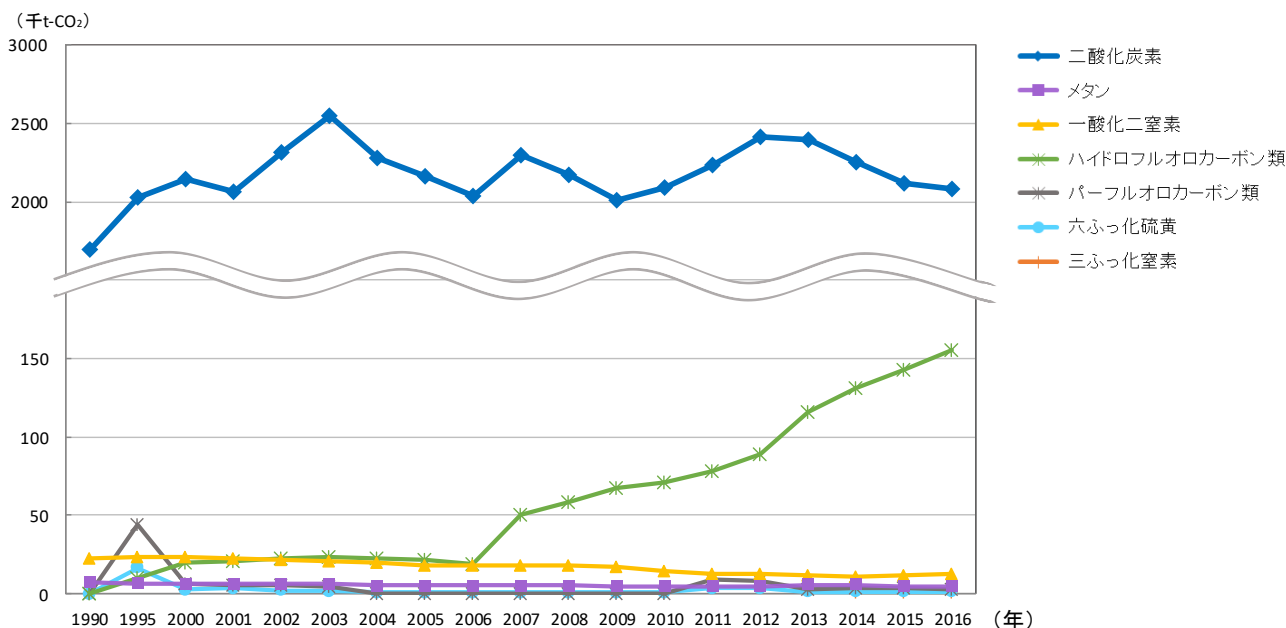
※出典：気象庁データを基に作成

八王子市の温室効果ガス排出量

市内の平成 28（2016）年度の温室効果ガス排出量は 2,318 千 t-CO₂ であり、基準年度（2013 年度）の排出量の 2,539 千 t-CO₂ に対して 8.7%減少しています。

市内の温室効果ガスの内訳をガス種別にみると、上位が二酸化炭素の 92.4%、ハイドロフルオロカーボン類の 6.7%、一酸化二窒素の 0.5%となっており、二酸化炭素が全体の 9 割を占めています。

また、温室効果ガスの基準年度比は、二酸化炭素が 10.8%減少、ハイドロフルオロカーボン類が 34.3%増加、そのほかはほぼ横ばいとなっています。



温室効果ガス排出量の推移

■八王子市地球温暖化対策地域推進計画とは

- 八王子の地域特性と現状を踏まえ、市民・事業者・市が一体となって地球温暖化対策に取り組み、市内から排出される温室効果ガスを減らすことを目的としています。
- 本市においても、既に地球温暖化による気候変動の影響が顕在化しています。八王子市の地域特性を踏まえて、既存及び将来の様々な気候変動による影響を計画的に回避・軽減していきます。

■計画策定の背景

本市は、平成 27（2015）年 3 月に「八王子市地球温暖化対策地域推進計画（平成 27 年度～平成 36 年度）」を策定し、地球温暖化対策に取り組んできました。

計画策定以降、国においては、2015 年 12 月の COP21 で採択された「パリ協定」を踏まえ、「地球温暖化対策計画」や「気候変動適応計画」を策定しました。

そこで、令和元（2019）年度で前半 5 年間の計画期間が終了することに伴い、変化する社会情勢などと整合をはかるため、新たな「八王子市地球温暖化対策地域推進計画（2020 年度～2030 年度）」を策定しました。

■計画の位置づけ

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条に規定する「地方公共団体実行計画（区域施策編）」に基づき策定します。あわせて、気候変動適応法第 12 条に基づく気候変動適応計画として位置づけます。

また、本市の環境保全に関する基本方針を定めている「第 2 次八王子市環境基本計画（改定版）」の基本目標Ⅱ「資源循環とエネルギーの有効活用で、地球環境にやさしいまちをつくる」を担う計画と位置づけます。

■計画の期間

計画の期間は、2020 年度から 2030 年度までの 11 年間とします。

計画の基準年及び目標年は、国の地球温暖化対策計画と整合を図り、基準年を 2013 年度、目標年を計画書の最終年である 2030 年度とし、国の長期的目標である 2050 年まで取組を継続的に行い、国の目標達成に貢献していきます。



■削減目標

目標年次	対象ガス	目標値
2030 年度	二酸化炭素	33.1%削減 (2013 年度比)

本計画では、国の「地球温暖化対策計画」と整合を図り、市内の二酸化炭素排出量を 2030 年度において、2013 年度比 **33.1%削減**をめざします。

また、長期的にも二酸化炭素排出量削減を推進していき、国がめざしている最終到達点としての「脱炭素社会」を今世紀後半のできるだけ早期に実現するため、2050 年までに温室効果ガス排出量を 80% 削減する国の長期的目標に貢献します。

地球温暖化対策の基本目標達成へ向けた取組

第2次八王子市環境基本計画（改定版）の基本目標Ⅱとして、「資源循環とエネルギーの有効活用で、地球環境にやさしいまちをつくる」を掲げ、本計画もこの基本目標の達成をめざして、取組を推進していきます。

温室効果ガス排出量削減に向けて、地球温暖化対策のための取組（緩和策）として9つの重点プロジェクトを掲げ、本市の二酸化炭素排出量削減に直結する重点プロジェクト1「家庭における環境配慮行動の推進」、重点プロジェクト2「事業者における環境配慮行動の推進」、重点プロジェクト3「交通における環境配慮行動の推進」を最重点プロジェクトとし、特に重点的に取り組めます。

また、将来予測される気候変動の影響の防止・軽減（適応策）をはかるため、重点プロジェクト10「地球温暖化の影響に対する適応策の推進」を掲げ、基本目標を実現するために市民・事業者・市が一丸となり、本計画を推進していきます。

基本目標	重点プロジェクト	成果指標	2018年度 (現況値)	2030年度 (目標値)	取組の柱
資源循環とエネルギーの有効活用で、 地球環境にやさしいまちをつくる	最重点 1 家庭における環境配慮行動の推進	市民一人あたりの二酸化炭素排出量	3,800kg-CO ₂ (2016年値)	2,850kg-CO ₂ (2028年値)	<ul style="list-style-type: none"> 意識の醸成 省エネ住宅の推進 環境配慮行動の支援
	最重点 2 事業者における環境配慮行動の推進	省エネ診断利用事業者数	38件	200件	<ul style="list-style-type: none"> 意識の醸成 事業所における環境負荷の低減 環境配慮行動の支援
		エコアクション21認証取得事業者数	59件	80件	
	最重点 3 交通における環境配慮行動の推進	次世代自動車の普及率	20%	50%	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した交通への転換 自転車利用の促進 二酸化炭素排出の少ない自動車交通の推進
		ZEVの普及率	0.8%	15%	
	4 市の地球温暖化対策に関する率先行動	市施設からの温室効果ガス排出量	77,718t-CO ₂	68,366t-CO ₂	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの活用 市施設などでの地球温暖化対策 公用車の低炭素化
	5 再生可能エネルギーの導入推進	市内に設置された太陽光発電設備の発電容量	47MW	90MW	<ul style="list-style-type: none"> 市施設等への設備導入 住宅や事業所、土地への設備導入 木質バイオマス資源の供給体制の整備及び需要拡大
	6 低炭素型まちづくりの推進	エネルギーを効率的に利用するまちづくりに着手している箇所数	0か所	4か所	<ul style="list-style-type: none"> クールセンター八王子による普及啓発 低炭素都市づくり計画の推進 水素エネルギーの普及促進
	7 環境教育・環境学習の推進	環境に関する講座や講演に参加している人の数	24,532人	30,800人	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校での環境教育 地域における環境教育 環境教育・環境学習を実践する人材の育成・活用
8 二酸化炭素の吸収源であるみどりの保全	保全の対象とした緑地面積	180.65ha	185ha	<ul style="list-style-type: none"> みどりの適正管理 木材利用の推進 農地の保全・活用 	
9 循環型社会の形成の推進	一人一日あたりのごみ総排出量	765g/人・日	740g/人・日以下	<ul style="list-style-type: none"> ごみの発生抑制・資源化の推進 廃棄物の適正処理 	
適応策	10 地球温暖化の影響に対する適応策の推進	雨水流出抑制対策率	39%	66%	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害に関する適応 暑熱対策・都市生活に関する適応 新たな影響に対する適応策の検討・実施

■身近な省エネ行動が二酸化炭素の削減に非常に有効です

家庭から排出される二酸化炭素は、エネルギー種別では電気が全体の 48.6%と最も多く、車用のガソリン(22.3%)、暖房などに用いる灯油(9.5%)と続いています。

また、電化製品ごとの消費電力量の内訳をみると、冷蔵庫(14.2%)や照明器具(13.4%)の比率が高いですが、全体でみると、冷蔵庫やエアコンなどの加熱・冷却機器で半数(50.1%)を占めています。

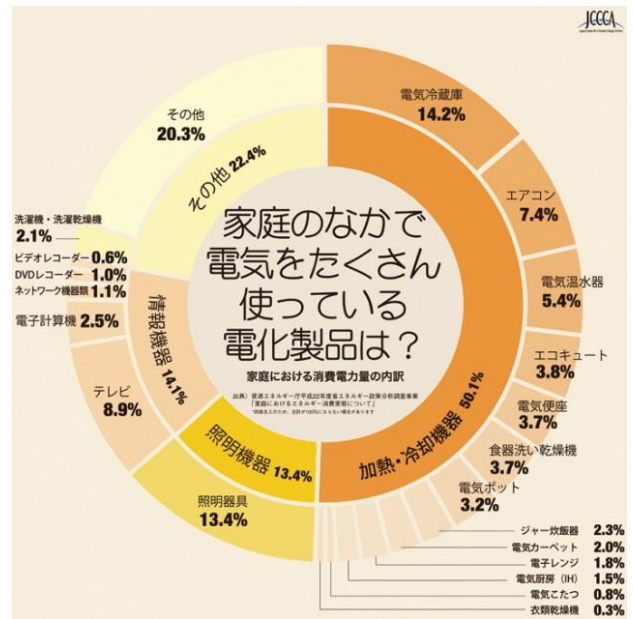
このことから、身近な省エネ行動が二酸化炭素の削減に非常に有効であることがわかります。

本計画の削減目標達成には、

市民一人あたり年間約 34kg-CO₂ の削減が必要です。

平成 28(2016)年値では、市民一人あたり年間 3,800 kg-CO₂ 排出していますので、年間約 1%の削減をコツコツ続けることで目標を達成することができます。

次に掲げる省エネ行動を参考にエコな暮らしを行いましょう。



家庭における消費電力量の内訳

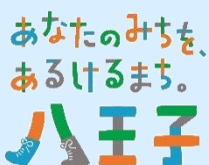
※出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

■家庭でできる取組(一例)

空調	
省エネ行動	CO ₂ 削減量(年間)
暖房は外出や寝る 20 分前にスイッチをオフにする。	13.5 kg-CO ₂
月 2 回フィルターを掃除する。	15.6 kg-CO ₂
照明・その他	
省エネ行動	CO ₂ 削減量(年間)
白熱電球を LED 電球に交換する。	45.0 kg-CO ₂
テレビの画面は明るすぎないように設定する。	13.3 kg-CO ₂
キッチン・水回り	
省エネ行動	CO ₂ 削減量(年間)
冷蔵庫は季節にあわせて設定温度を調節する。	30.2 kg-CO ₂
使わない時は、電気便座のふたを閉める。	17.1 kg-CO ₂
自動車	
省エネ行動	CO ₂ 削減量(年間)
発進時にふんわりとアクセルを踏む。	194.0 kg-CO ₂
不要な荷物を降ろす。	51.0 kg-CO ₂



※出典：家庭の省エネハンドブック(東京都地球温暖化防止活動推進センター)、家庭の省エネ徹底ガイド 春夏秋冬(資源エネルギー庁)、エコドライブ 10 のすすめ(エコドライブ普及推進協議会)を一部改変



発行 八王子市
令和 2 (2020) 年 3 月
編集 八王子市環境部環境政策課

八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
TEL : 042-620-7384
FAX : 042-626-4416
E-mail : b110400@city.hachioji.tokyo.jp